



# 学校評価だより(前期)

令和6年  
10月

名木野小学校の令和6年度の重点目標（目指す子どもの姿）は、『誰とでも仲間になって学ぶ子ども～名木野プライドをもつ子ども3～』です。この姿を実現するために、名木野小学校では3つの学力部会で、成果目標・教育活動・運営活動を設定し、全校体制で取り組んでいます。そして、定期的に評価を行い、取組の改善を図っています。前期（7月）の子どもの姿や各種アンケート結果から、成果と課題、2学期の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

## 令和6年度 見附市立名木野小学校グランドデザイン

【見附市の基本理念】・ふるさと見附を愛する子ども ・世に役立つことを喜びとする子ども

国：主体的・対話的で深い学び  
個別最適な学びと協働的な学び

見附市こども・子育て どもんなが条例

県：ふるさとへの愛と誇りを胸に、夢や希望を持って粘り強く  
挑戦し、未来を切り拓いていける、たくましいひとづくり

<教育目標>希望に燃え、飛躍していく子ども（希望と飛躍）

学力の向上により  自己肯定感を高める

<今年度めざす子ども>誰とでも仲間になって学ぶ子ども～名木野プライドをもつ子ども3～

### 生きて働く「知識、技能」

☆学習で用いる言葉の理解をもとに、音読や文章読解の力を高める子ども

【成果目標】

- ① 国語、算数のワークテスト(知・技)を 85%以上にする。
- ② 流暢に音読ができる子どもを 80%以上にする。

【教育活動】

- ① 学習用語を用いた復習を行う。
- ② 学びタイム等で、音読や読み聞かせを行う。

【運営活動】

- ① 学習用語を用いた復習や教室掲示の方法を情報共有する。
- ② 音読や読み聞かせの指導法について共通理解を図る。

### 未知の状況に対応できる「思考力、判断力、表現力等」

☆課題に対して、知識・技能を生かし、仲間と交流しながら、思考・判断・表現しようとする子ども

【成果目標】

- ① 算数のワークテスト(思・判・技)を 80%以上にする。  
授業で考えたことや学んだことを、振り返りを書く子どもを 80%以上にする。

【教育活動】

- ① 子どもの思考のズレや疑問を基にした追求課題(◎)を単元の中で1単位時間以上設定する。
- ② 振り返りの書き方について指導と評価を行う。

【運営活動】

- ① 追求課題の設定のしかたを全教職員で考える研修の場を設定する。
- ② 振り返りの観点や評価基準を設定する。

### 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」

☆人間関係を作る力を培い、協働して学びに向かうことのできる子ども

【成果目標】

- ① 自分には良いところがあると思う子どもを 80%以上にする。
- ② 自分の考えを安心して伝えることができる子どもを 80%以上にする。

【教育活動】

- ① 自他を認め合える活動を子どもと共につくる。
- ② ペア学年・縦割り班・2学年間等で、互いの良さを伝え合う活動を行う。

【運営活動】

- ① 各学級の取組の確認と紹介を行う。
- ② ペア学年・縦割り班・2学年間等の交流活動について担当同士が話し合う場を設定する。

<学級経営と支援教育の充実> ～学級担任のカラーを打ち出す学級経営とスクラム学級・交流学級/学年、家庭、関係機関等が連携し、自立を支え、夢をはぐくむ～

<学校ホームページより抜粋>

生きて働く  
「知識、技能」

学習で用いる言葉の理解をもとに、  
音読や文章読解の力を高める子ども

【成果目標の達成状況及び評価】

	成果目標	前期（7月）結果	評価
①	国語・算数のワークテスト（知識・技能問題）の平均正答率を85%以上にする。 <A：85%以上 B：80%以上>	<b>国語</b> 全校平均正答率 82.1% <b>算数</b> 全校平均正答率 84.4%	B B
②	児童アンケート「文章をすらすらと読むことができる」と肯定的に回答した児童の割合を80%以上にする。 <A：80%以上 B：70%以上>	よくできた …33.6% だいたいできた…50.0% あまりできなかった…12.9% できなかった … 3.5%	肯定的回答 83.6% A

【成果・課題、2学期の取組】

○学習で用いる言葉（学習用語）の理解と定着を図るために、キーワードになる言葉をペアで確かめ合ったり、カードにして繰り返し確認したりと、子どもたちの実態に応じた取組を行ったことで、学習用語を使って考えをまとめたり、説明したりする姿が見られるようになってきました。

◎各教科の授業で読む活動に力を入れたり、毎週金曜日の朝学習の時間を「読む読むタイム」と設定して各学級でさまざまな読む活動を行ったりしています。楽しみながら、声に出して読む活動を通して、読むことへの自信と意欲が向上してきました。



（5年生音読発表の様子→）

△文章を正しく読み取り、学習したことを活用して課題解決を図る力を高めていくことが課題です。  
⇒1学期に実践して効果的だった各学年学級の取組を担当間で共有しました。2学期は、上記取組をさらにパワーアップして実践し、学習内容の理解と定着につなげていきます。また、読書にも力を入れ、語彙や知識を増やしたり、読むことの楽しさを味わわせたりしながら読解の力につなげていきます。

未知の状況に対応できる  
「思考力、判断力、表現力等」

課題に対して、知識・技能を生かし、仲間と  
交流しながら思考・判断・表現しようとする子ども

【成果目標の達成状況及び評価】

	成果目標	前期（7月）結果	評価
①	算数のワークテスト（思考・判断・表現問題）の平均正答率を80%以上にする。 <A：80%以上 B：70%以上>	<b>算数</b> 全校平均正答率 74.5%	B
②	児童アンケート「授業のふり返りで、自分が考えたことや分かったことが書けたか」と肯定的に回答した児童の割合を80%以上にする。 <A：80%以上 B：70%以上>	書けた …37.1% だいたい書けた…41.8% あまり書けなかった…15.6% 書けなかった … 5.5%	肯定的回答 71.9% B

【成果・課題、2学期の取組】

○授業では、ペアやグループなどで対話をして考えを深める活動を積極的に取り入れています。考えを伝えたり、聞いたり、相談したりする対話を通して、理解を深めたり、新たな視点に気付いたり、

伝える力を高めたりする姿が見られます。

△算数への苦手意識を感じている子、自分の考えや学んだことなどを書くことに自信がもてない子への指導を工夫する必要があります。

⇒授業の始めに、「どうしてだろう？」と子どもの思考のズレや疑問が生まれる教材や投げかけを工夫し、「考えたい」「解決したい」「相談したい」「説明したい」と子どもが思う「たい」のある授業を実践し、学びを深めていくことを目指します。また、振り返りの書き方の型を指導したり、タブレットを活用したりして、「書く」「計算する」などの基礎的な力の定着と向上を図っていきます。



(集中して振り返りを書いている様子↑)

**学びを人生や社会に生かそうとする 「学びに向かう力、人間性等」** **人間関係を作る力を培い、協働して 学びに向かうことのできる子ども**

**【成果目標の達成状況及び評価】**

	成果目標	前期（7月）結果	評価
①	児童アンケート「自分にはよいところがあると思う」と肯定的に回答した児童の割合を80%以上にする。 ＜A：80%以上 B：75%以上＞	あると思う …43.3% どちらかといえばある…37.1% どちらかといえばない…13.4% ないと思う … 6.2%	肯定的回答 80.4% A
②	児童アンケート「ペア学年やスマイルチームなどの友達に、お互いのいいところを伝え合うことができた」と肯定的に回答した児童の割合を80%以上にする。 ＜A：80%以上 B：75%以上＞	よくできた …26.2% だいたいできた…43.0% あまりできなかった…24.6% できなかった … 6.2%	肯定的回答 69.2% C

**【成果・課題、2学期の取組】**

○各学級で、道徳、学級活動などの授業や帰りの会の中で、友達の良いところを伝え合う活動を取り入れたり、ペア活動やスマイルチームの活動の際に「ありがとうカード」の交換などの交流を行ったりしたことで、自他のよさに気付いたり、協力して活動したりする姿が見られました。

△学年が上がるにつれて、「自分にはよいところがあると思う」と回答する児童の割合が低くなる傾向があります。「よいところ」＝「得意なところ」「人と比べてよくできるところ」という認識があり、周りの様子を気にする年齢になるほどその認識が強くなり、「自分にはよいところなんてない」という思いになることが要因の1つとして考えられます。

⇒「よいところ」について、さまざまな視点から子どもたちに伝え、子どもたちの認識を広げていきます。また、子どもたちにも「よいところとは何か」を考えさせ、自他にはいろいろなよさがあることに気付かせていきます。

⇒2学期は、スマイル班活動に力を入れて取り組んでいます。各学年にねらいや役割を伝え、それぞれが相手のことを考えて活動する中で、自他のよさに気付かせていきます。9月20日にはスマイル班遊びを行いました。どの班も、リーダーの6年生を中心に、仲良く、楽しく活動する姿が見られました。



(トランプで遊ぶ班の様子→)

### 【その他の児童アンケート結果】※昨年度との比較

質問内容	R6.7月	R5.12月	R5.7月
1週間に何日くらい家庭学習をしていますか。 ⇒「だいたい毎日」「4、5日」と回答した割合	81.6%	86.1%	88.8%
学校以外で、1週間にどのくらい読書を読みますか。 ⇒「だいたい毎日」「4、5日」と回答した割合	32.5%	26.8%	30.6%
1週間にどのくらい、家のお手伝いや仕事をしていますか。 ⇒「だいたい毎日」「4、5日」と回答した割合	46.9%	52.3%	49.3%
好き嫌いせず、給食を食べていますか。 ⇒「毎日」「だいたい食べている」と回答した割合	85.5%	81.1%	86.8%
自分の学校のことが好きですか。 ⇒「とても好き」「好き」と回答した割合	86.7%	85.1%	87.5%
自分の住んでいる地域や見附のことが好きですか。 ⇒「とても好き」「好き」と回答した割合	95.7%	94.7%	95.1%
地域の人にあいさつをしていますか。 ⇒「よくしている」「だいたいしている」と回答した割合	76.6%	74.8%	77.3%
学校で友達や先生、お客さんにあいさつしますか。 ⇒「よくしている」「だいたいしている」と回答した割合	81.2%	82.4%	82.9%
花や緑を育てることや世話をすることが好きですか。 ⇒「とても好き」「好き」と回答した割合	75.0%	71.2%	76.0%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。 ⇒「よく思う」「だいたい思う」と回答した割合	90.7%	90.1%	90.8%
難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。(3年生以上) ⇒「している」「だいたいしている」と回答した割合	81.3%	79.5%	85.5%
学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。(3年生以上) ⇒「よくある」「ある」と回答した割合	90.7%	89.2%	89.8%
先生は、学力がつくように熱心に教えてくれますか。 ⇒「よくしてくれる」「だいたいしてくれる」と回答した割合	95.3%	95.3%	96.7%

### 【保護者アンケートから】

保護者アンケート自由記述の中で、教育活動に関してたくさんの意見、要望、感想等をいただきました。職員の指導や対応に関すること、交流運動会や水泳授業、持久走大会に関すること、個別懇談、校舎長寿命化工事、情報発信に関することなど、様々な視点からの内容をいただきました。目の前の子どもたちの健やかな成長や幸せにつながる大切な内容として受け止め、今後の教育活動、学校運営に生かしていきたいと考えています。今後とも、名木野小学校の取組に、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。